

病気を抱える子どもとその家族を応援する支援団体

未来ISSEY

2025.3.31発行



未来ISSEYのこども食堂「色えんぴつ食堂」にて
アーティストと子どもたちが作成した大壁画

トピックス >>>

- ・ 内閣総理大臣表彰受賞報告
- ・ 病気療養中の高校生を応援する支援
合い井戸端セミナー
- ・ ご寄付・クラウドファンディングに寄せて
- ・ 支援者インタビュー / 松浦産業株式会社様

こども家庭庁 こどもまんなかアワード

内閣総理大臣表彰

2024年11月18日

令和6年度 第2回

未来をつくるこどもまんなかアワード

表彰式に参加しました。



「未来をつくる こどもまんなかアワード」は、「こどもまんなか社会」の基本理念の実現に向け、こうした取組を実施する団体又は個人を2つの部門で表彰し、国民の理解を増進させるとともに、活動をより活性化させることを目的とした表彰事業です。

今回のアワードは、自ら応募したのではなく、香川県からの推薦。本当に驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさんの方からいただいたお力のおかげでここまで続けてこれた活動。それを「内閣総理大臣表彰」という形で認めていただけたことは、未来ーSSEYにとってこれ以上ない財産のひとつになりました。

この賞に恥ずかしくない自分たちでいなければ

私たちがやっているのは、誰かのためにできる小さな一歩を積み重ねていくこと。

時には失敗をしたり、ご迷惑をかけたリして反省することもありますが、でも、その小さな一歩を表現し続けることで、やがて大きな支援につながることを信じています。

「受賞できて嬉しいー」

というよりも、

「この賞に恥ずかしくない自分たちでいなければ」

という思いが強くなりました。

歩んできた道のりを振り返り、

お互いを知り合うことができた

受賞報告会



十二月二一日、丸亀町レッツホールにて「第2回 未来をつくるこどもまんなかアワード」内閣総理大臣表彰報告会を開催しました。

年末のお忙しい時期、寒い雨の中にもかかわらず、たくさんの方々に越しいただき心から感謝しています。

今回の受賞にあたり、未来ーSSEYがこれまで歩んできた道のりを振り返りました。時系列で活動を紹介するとともに、これまで未来ーSSEYが手に入れた大切な道具一つひとつをご紹介させていただきました。さまざまな挑戦を乗り越えてきましたが、皆さまの支えがあつてこそここまで来ることができたのだと、切に感じています。

また、未来ーSSEYの大切な活動のひとつ「グッドブラザー事業」のメンバーから、実際

グッドブラザーの声 伝わる意味深い時間



に活動している五名が自分の想いを話してくれました。普段、自分の声を伝える機会が少ない彼らの言葉を聞くことができて、深い意味のある時間となりました。

さらに、皆さんが交流を深められるようにとご用意した軽食では、乾杯のご発声を大手前高松高校の溝渕校長にお願いしました。その後は和やかな歓談の時間となり、たくさんの方々とお話をさせていただきました。

短い時間でしたが、未来ーSSEYの活動に関わってくださいました方々に感謝の気持ちをお伝えでき、新たにお互いを知ることができたことが、この報告会をより素晴らしいものにしてくれたと感じています。これまでのご支援に心から感謝します。そして今後とも一層のご支援をよろしくお願いいたします！

「病気療養中の高校生を応援する支え合い井戸端セミナー」

6月大阪大会 9月東京大会 10月札幌大会 12月福岡大会



長期療養中の高校生が、出席日数が足りず休学、留年、退学になっている全国の現状を変えようという大きな課題に挑戦した1年。赤い羽根福祉基金様の助成をいただき、全国各地でのセミナー開催に取り組みました。

これは、未来I S S E Yが全国に直接וותて発信するという初の試みでした。各地域の団体様にサポートいただき、当事者ご家族、医療・教育・福祉関係者、支援団体、研究者、議員、一般の皆様と、総計百七十一名の皆様にご参加いただけたことが何よりの成果です。

当事者の体験と思い

システムとして学校に繋いでももらえないこと、学びを続ける方法がなかったことや、続けられたが望む方法ではなかったときの苦渋の決断、その時の悔しさが語られました。それでも家族の応援を受けて校種を変えたり、自力で学んだり、一旦諦めて後に学び直しをするなど、彼らの厳しい経験と忍耐力に「何とかできなかったのか」という怒りを感じた参加者もありました。



先進的な学校や教育委員会の取り組み

逆にこちらの話では、今あるシステムの改変とその時点での環境作りに工夫し、本人と家族の希望に近づけようと日々取り組まれる先生方・医療関係者の発表に心打たれました。そこで学んだ当事者さんの講演でも、「ここで学び、先生や友だちと過ごせたことが唯一病気になって得られた良かったこと」という思いが述べられました。それくらい大きく人生を左右する「高校で学ぶ」という時間。この時期に人と人との直接の関わりこそが必要であることも改めて確認できました。

「同じような経験をしたからこそ伝えたい」



病気療養中の高校生の
動画視聴ページ

国の方針も、病気を抱える高校生に対して改善の方向を示しています。その内容がより分かりやすく多くの必要な方に知っていただくために、未来I S S E Yでは動画を作成、YOUTUBE上で公開しています。参加者から、「同じような経験をしたからこそ、この情報をしっかり伝えたい」「そのような辛い状況があることを知らなかった。知ることが大切。ここから広げたい」という声が聞かれました。

その後、知り合いの医療関係者や支援団体・当事者に新たに関係団体を紹介したり、解決に向けて作った冊子を届けていただき、参加者が多数いらつしました。

おかげで二百冊以上の冊子が全国に広がりました。

今回の繋がりを生かして一人でも多くの高校生の応援につながるよう、啓発を続けていきます。

「知らなかった。
知ることが大切。
ここから広げたい」

毎日新聞社・毎日新聞大阪
社会事業団「生きる小児がん
征圧キャンペーン」より
「小児がん征圧募金」を贈呈
いただきました



征圧募金は、小児がんの患者や
そのご家族を支援する団体を対象
に募られているもので、今年度は
十二団体に贈呈されました。
未来ISSEYは、今回初めてこ
の支援を受けることができ、心よ
り感謝申し上げます。

三月十四日に行われた贈呈式に
は、十団体の代表者が出席し近況
や課題について報告し合いました。
贈呈式後には交流会も開催され、
初めて出会う団体の皆さんとの
貴重な交流の機会となりました。
同じ課題に取り組む中での悩み
や熱い思いを共有できたことは、
大きな励みとなりました。また、
今後の活動で手を組めるかもしれ
ないという期待も膨らみ、次の
一歩につながる出会いとなりました。

未来に向かって 希望の一步を

クラウドファンディング成功のご報告

おかげさまで、クラウドファンディングが目標を達成いたしました！心より感謝申し上げます。
未来ISSEYでは、パディ（当事者）と関わるものから啓発まで、幅広い活動を行っています。

“長期闘病中の子どもたちの笑顔と希望を支える活動”

活動を未来に残すため、今回クラウドファンディングでいただいたご支援は、2つの事業に活用させていただきます。

グッドブラザー事業

活動に参加してくれている学生ボランティア「グッドブラザー」は少し年上のお兄さんお姉さんとして、子どもたちと同じ目線で笑顔を引き出してくれています。「楽しかった！」「自分も嬉しかった！」と笑顔で話してくれる姿を見るたびに、本当に嬉しくなります。この経験が、将来、医療や教育・福祉の現場で働いたときに、子どもたちやご家族への理解につながるように。そんな未来への土壌づくりでもある事業だからこそ、彼らが少しでも活動しやすくなるように、せめて交通費は支給したい！とずっと思っていました。その願いが、今回たくさんの方の支えによって形になりました！30,000円以上の支援をくださった方のお名前が入った封筒も新調。さっそく、遠方からの学生に届けることができました。



エールバック事業の強化

入院生活を支える「エールバック事業」は、家族の心のケアを目的としたプロジェクト。入院中必要なアイテムやセルフケアチェックシートを詰め込んだバックをお届けしています。不安や悩みの絶えない入院中に「頼れるところがある」「ひとりじゃない」と感じてもらうことで心のサポートを行っています。行政や地域の企業さまからの物品寄付をいただけることも少しずつ増えてきましたが、それだけでは足りないのが現状…。今回のクラウドファンディングは、エールバックを「継続」していくための大きな一歩になりました。



グッドブラザー交通費支給用の封筒

協賛

株式会社 Kyklos / ジェリーズポップコーン SP/
雲のじゅうざ / 岡 美紀

リターンとして「透明&ゴールドリボンFESTA」の広報物や
掲示物にお名前を記載させていただきました。

松浦産業様より、エールバッグのために「とって」おきのうどん鉢を毎月二十個ご寄付いただいております。エールバッグを受け取ったお母さんからは、病室でも使いやすいと助かっているという声が届いています。

そんな松浦産業株式会社 副社長の松浦さんに、お話を伺いました。



松浦産業株式会社
副社長 松浦 英樹氏

ー 未来ISSEYを知ったきっかけは何ですか？

二〇二二年十二月、中高の同級生である驚岡漢方堂の驚岡社長から、未来ISSEYのクラウドファンディングに協力して欲しいとの依頼があったことで、未来ISSEYさんの「みらいキューブプロジェクト」活動を知り、はやし家製麺所さんのうどんを購入させて頂きました。うどん繋がり（笑）。

ー 寄付をしようと思ったのはどうしてですか？ また、寄付に「とって」おきのうどん鉢を選んだ理由を教えてください。

クラウドファンディングが成功したことを見届けた後、正直、未来ISSEYさんの取り組みのことはしばらく忘れていました。

ある日、弊社の「とって」おきのうどん鉢のSNS、ECサイト、YOUTUBEを業務委託している川東さんより、小児がんの支援をしている方が「とって」おきのうどん鉢のような器があったらすごい便利なので、購入したいとおっしゃっているという話を聞き、未来ISSEYさんの活動を思い出しました。そして再び代表の吉田さんに直接お目にかかることができました。

その際、小児がんの家族のお話で、子どもが入院するためには両親のいずれかが仕事を休まないといけないという、精神的にも経済的にも非常に深刻な状況にあることや、ひとり親家庭などの経済的な困窮者は、行政が支援を積極的にしているが、小児がんの家族には行政の支援が行き届いていないこと、子ども食堂などは、みんなでご飯を食べて子どもの支援とする明るいイメージがあるのに対し、（子ども本人やご家族について）当然メディア等で露出することはできないことを知りました。

本来、国や県や市や行政の支援が当たり前のようになっていると思ったのに、活動が自走できるような状態でないこと、吉田さんの活動が光を浴びていないことを知り、愕然としたのを思い出します。

弊社の「とって」おきのうどん鉢は、二〇二二年四月に着想し、二〇二四年七月から八月までクラウドファンディングで四百十五万円を集めた商品になりました。

実は、この商品の着想には二つのサイドストーリーがあります。一つは、足の悪くなったうどん好きなおばあちゃんや家族が、駐車場にお盆ごとうどんを運んでいるのを見た話。もう一つは、僕の後輩経営者の息子さんが下の娘と同じ年なんです。小生の頃、血液ガンを発症し、四国こどもとおとなの医療センターに入院。奥さんは四国中央市から病院に付き添っておられました。そして彼が、奥さんの好きな琴平のむさしのカレーうどんを二つ、重い陶器で車で運んでいるのを知っていたからなのです。それもあって、吉田さんから弊社の「とって」おきのうどん鉢があったらよかったのかをお聞きした時に、お昼は外に行く子どもから離れるし、レンジですぐ温められる容器で、スペースが

ない病室の中でも子どもと一緒に食事ができるこの商品はとても良いというお話を頂き、その場で一年間毎月二十個をエールバッグに寄贈させて頂き、嬉しいとお願い致しました。

ー 寄付をしてよかったと思うことはありますか？ あれば具体的に教えてください。

弊社がエールバッグへの寄贈を初めてすぐ未来ISSEYさんの活動が、二〇二四年の十二月に内閣総理大臣表彰を受賞されました。クラウドファンディングからわずか二年で活動の知名度が飛躍的に高まったことは、自分のことのように嬉しかったです。また、この活動には、同世代のグッドブラザーと呼ばれる若い力が必要ですが、エールバッグの寄贈を通して自分が卒業した高校の後輩たちがボランティアとして活躍している姿を見ることができました。

ー これから未来ISSEYに期待することはどんなことですか？

最近メルマガではじめて未来ISSEYのお名前であるということを知りました。吉田さんの持つ強さと弱さを知りました。まだまだ知らないことがあるのだなと感じました。吉田さんたちが資金面の心配をしなくてもいいような自走式な活動ができること、これが一番の期待です。まずは、活動の認知度を上げること。その1つがゴールドの応援のライトアップかもしれません。今年もうどん県でゴールドの応援のライトアップがあちこちで見られたら嬉しいですね。



「とって」おきのうどん鉢

未来ISSEY
公式メルマガ
毎日配信中



2024年度 未来ISSEY 応援実績数

利用実績（人）※延べ数 2024年3月～2025年2月	グッドブラザー	交流支援 ロボット	学校・家庭に ロボット長期貸出	ピアサポート 相談	エールバッグ 配布
	187	22	1	78	240

あれこれ

香川県小児慢性特定疾病児童等 自立支援事業

乳製品不使用！
からだに優しい
シュークリームを
作ったよ



材料や焼き加減にこ
だわって、みんなで
バトンタッチしなが
ら仕上げたよ



笑顔の試食の後は、お家の方も、
ゆったりとした雰囲気の中でたくさん
お話ができました。（場所：みらいキューブ）



レモネードスタンド 年間12回会開催！！

毎回寄付金を貯めて来てくださる方。チラシを見て、知って来てくださった当事者さん。エールバッグを受け取られた方など、未来ISSEYと当事者との出会いの場になりつつあります。もちろんチャリティ商品の購入から、県下の小児がん啓発へとひろがっています。

新しいスキル獲得講座が出来ました！

病気療養中や介護中などの事情を抱えていても、スキルを身につけて将来の選択肢を増やして欲しい！そんな思いでスタートした「スキルマルシェ」に新しい講座が出来て4月からリニューアルします。当事者の方が会員制で全ての講座を受講できたり、毎週のオープンスペースで質問できたりと、より利用していただきやすいシステムになっています。

もちろんこれまで通り、一般の方にも講座を購入して受講いただくことができます。新しいチャレンジやスキルアップにぜひ！
（丸紅基金の助成事業）

社会は、今日もあなたに支えられている。



病棟から巨大迷路をロボットで探検！ ワイワイハロウィンパーティー

一から手作りの巨大迷路は、香川大学医学部内に設置。段ボールをくださった方々、ミッションを考え制作してくれた大手前高松高校・中学校の皆さん、段ボールを組んでくれた大人ボランティアの皆さんらのご協力で完成しました。

段ボール迷路をロボットで進みながら、いろんなミッションに挑戦しました。グッドブラザーは迷路のあるロボット側にはもちろん、子どもたちのベッドサイドにも登場して、両方からナビゲート。



～グッドブラザーの声～

「子どもたちとロボット操作をしたのですが、遠隔であることを忘れるくらいに楽しんでくれていました」

「私の着ぐるみの象の鼻をずっと握っていた子や、たくさん話しかけてくれた子がとても印象的でした」

「やはりすぐ近くで子どもの笑顔を見るとこの活動の意義を感じることが出来ます」

「顔は見れなかったのですが、みんな盛り上がって楽しんでくれたので良かったです」

「どう言葉掛けをすればいいのか、どういう風な声のトーンで話せばいいのか、といろいろ考えて緊張しました！」

未来ISSEYのSNSをご覧ください。いろいろな声もいっしょに、感動しました。親子もスタッフも笑顔いっぱいのイベントになりました。

ご利用者様 interview

Q1：未来ISSEYを知ったきっかけは？

一子どもが入院中に入院児のための様々なイベントを通じて

Q2：未来ISSEYの事業のどんなところがお役に立ちましたか？

一長期入院中に、学校と病室を繋いでのリモート授業を受けるために相談に乗って下さり、Kubiという遠隔ロボットやタブレットの貸し出しをしていただきました。

Q3：未来ISSEYに出会ったことで、ご本人やご家族のお気持ちに何か変化はありましたか？

一娘は何か自分にもできることがあるのならばとボランティアにも興味が出てきて、私自身も未来ISSEY様にお世話になった様々なことを身近な人から発信していければと思っています。

Q4：支援者の皆様にお伝えしたいことはありますか？

一長期入院中は子どもはもちろん、付き添い親も世間との交流が狭くなってしまいます。しかし病気のこと以外に学校のこと、進路のことなど様々な決断をすることがあるのにどこに相談すればよいのか悩むことが多々あります。そんな時、未来ISSEY様は悩みに応じた相談に乗ってくださり、提案をしてくれて、大変心強かったです。未来ISSEY様のような安心して頼れる存在があることを、今悩んでいる付き添い児のご両親たちに広く知っていただきたいです。

未来ISSEY

「がん教育ゲストティーチャーとして」

文部科学省の「がん教育推進」を受け、香川県教育委員会事務局保健体育課所属「がん教育ゲストティーチャー」として、二校で講演。子どもたちに、医療関係者や当事者のお話とは違う、私たち支援団体の経験や活動をお届けしました。事前に先生方は熱心に打ち合わせしてくださり、子どもたちも真剣に聞いてくれました。「困難」なことも、みんなで共有できれば不安が小さくなり、解決策につながる。



病棟内クリスマス会

寄付でいただいたプレゼントをもって、病棟のクリスマス会に参加してきました。さまざまなコスプレをしたグッドブラザーも楽しそう！まず、こちら側が楽しくないと子どもたち楽しんでもくれません。プレゼントも、毎回こんなにあるの？というくらい持ち込みます。持ち帰るものも多くなるのですが、子どもたちに「選ぶ楽しさ」を味わってほしいから。



コロナ禍が明け徐々にイベントにも参加できるようになって、直接子どもたちと触れ合えることに喜びを感じています。そして会うたびに、次はこうしよう、こっちの方が喜んでくれるんじゃないかな、といったアイディアも湧いてきます。

透明&ゴールドリボンフェスFESTAinかがわ 2025 —見えない痛みを見える支援へ—



三月十六日イオンモール綾川で「透明&ゴールドリボンFESTA in かがわ」を開催しました。今年で三回目になるこのイベントは、見えない障がい・疾患・悩みが小児がん啓発として、未来ISSEYが主催して開催しています。

「誰に相談したらいいかわからない」「どうしていいかわからない」「そんな悩みや困ったを支えている方たちと出会える機会はあまりありません。グリーンケア、子どもの病気、古民家再生、犬猫の命、介護、アピランスケア、アトピーとアレルギー、予期せぬ妊娠など。このイベントでは、社会のさまざまな不安や問題を支えようと日々活動している十二の団体のブースコーナーとステージの両方で、「見えない痛みを見える支援へ」つなげる企画を行いました。

未来ISSEYは、未来ISSEYの中のきょうだい児交流グループ「LOOK AT ME」と共にブースで参加者をお迎えしました。チャリティーグッズの販売や、子どもたちが楽しめるミニゲームなど、老若男女さまざまな人が利用するイオンモールだからこそ届いてほしい思いをお伝えしました。「誰かの未来をもっと明るくしたい」そんな思いを伝えられたイベントとなりました。



「かまくらまつり」現地から生中継

二月十五日は、「国際小児がんデー」でした。この日に合わせて、秋田県の「横手かまくら祭り」と病棟をつなぐ企画がグッドブラザーから挙がり彼らの手によって実行されました。昨年十一月のフォーラムで秋田の大学生と出会ったことがきっかけでした。

グッドブラザーの学生さんが「病棟の子どもとコミュニケーションをとりたい」と提案。企画の内容もすべて考えてくれ、未来ISSEYは「交通費の負担」「ロボットの貸し出し」「病棟との調整」をサポートしました。当日はトランプやハプニング

もありつつ、実際に現地へ行った一名のグッドブラザーと、急遽現地でサポートしてくださった方とで病棟の子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。



グッドブラザーが企画してくれたイベントに関しては、実行できるようなサポートしていきます。

ご支援くださった方々

(3月20日現在敬称略)

メディア

2024. 9 毎日新聞 小児がん啓発イベント「チャリティーリレーライブ」
2024. 9 四国新聞 世界小児がん啓発キャンペーン「チャリティーリレーライブ」
2024. 10 四国新聞「エールバッグ」
2024. 10 朝日新聞「入院・療養中の高校生の学び支援」
2024. 10 NHK高松「ゆう6かがわ」未来ISSEYの取り組み

2024. 11 毎日新聞 他 共同通信社、四国新聞等
「こどもまんなかアワード内閣総理大臣表彰受賞」
2025. 3 毎日新聞「生きる」小児がん征圧募金贈呈団体の集い
日本放送ラジオ「はなラジ」
一毎月第二金曜日13時15分頃から未来ISSEYの取り組みについて

助成

2024. 3 赤い羽根福祉基金2024年度事業助成「長期入院・療養中の高校生の学びを止めないための協力体制構築事業」
2024. 5 公益財団法人はるやま財団「障がい児・難病児とその家族を応援『エールバッグ』事業」
2024. 9 令和6年度「丸亀市子ども食堂」事業 開始
2024. 10 2024年度丸紅基金社会福祉助成金「就労支援オンラインサービスの整備」
2024. 11 むすびえ・こども食堂基金2024年度秋募集
2024. 12 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団プロジェクト指定基金「地域がつなぐ、長期闘病中の子どもたちの笑顔と希望プロジェクト」

賛助会員

東省二/阿竹恵美/穴吹勇人/穴吹美香/穴吹和仁/石田照代/一般社団法人在宅医療ネットワーク/伊藤明子/今岡浩美/宇野恭子/江口恵美/岡田将一郎/岡本博道(ディサービスという)/岡田志保美/香川勝/兼重知子/株式会社インテリアデザイン/株式会社BLOOM/鎌田哲哉/木下由美/木村真弥子/合田仁美/コーチングカフェいとや/小山善之/坂本聡/鮫島尚人/白石敬子/高橋広志/高津江里子/高畑真智子/高橋幸太郎/高橋英幸/竹本千秋/田中陽子/津谷弘樹/土屋恵里/東城真利子/遠山克彦/遠山佐奈江/直井みどり/中原治代/永井功造/西原美恵/東山美代子/福田洋子/古川範雄/古川忍/前川由紀子/真鍋典子/丸亀トヨー住器(株)/三日月善夫/皆川亜希子/宮本真弓/三好和子/森高玲子/弥富可奈子/有限会社日の出製麺所/横山明美/吉岡恭子/吉田操志/好井加奈子/Ravensar〜ラヴィンサラ〜/若杉百合子

寄付

一般財団法人サウンドハウスこどものみらい財団/公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団/一般社団法人MDRT日本会 (MDRT Foundation-Japan)/特定非営利活動法人国際支援活動協会/NPO法人スポーツ巡回ネットワーク/1つだけ美術館/天野裕子/安藤真弓/イシカワカズコ/磯邊翔太/一般社団法人アピアランスケア協会/岩根侑子/上野雄一郎/宇野直美/NPO法人働く女性研究会/大光光代/大阪淀ロータリークラブ/大矢久子/岡田匡子/梶谷美千代/勝田万紀子/金子多恵子/狩納ロザリー/株式会社kyklos/鎌田早苗/クワハラアヤコ/栗原邦子/小山重信/阪本直子/佐々木清路/佐々木文江/讃岐麺機株式会社/ジェリーズポップコーンSP/新池なつき/須崎スミ子/関本亜紀/Sonata工房/ソロプチミスト丸亀/田井邦宏/高塚けいこ/高田隆二/高橋利玖/田口智一/當代晴香/峠弘子/トキトドケ。/永井功造/中井今日子/中原亜紀/西山香/西原美恵/丹羽ひとみ/藤井義輝(大輝)/堀瀬直美/松浦まさ江/馬庭圭美/三好武志/村中/山本真佐子/吉田ゆかり

物品寄付

いけじじゅんこ/今岡浩美/上戸智子/NPO法人子どもたちの未来を応援するオアシス丸亀/大手前丸亀高校/大浦圭三/小倉誓子/小野洋平/香川県社会福祉協議会/株式会社プレーリードッグ/株式会社フェリシモ/栗原喜代子/公益社団法人丸亀法人会/琴平町社会福祉協議会/小山久子/JA共済連香川/鈴木志朗/田井邦宏/高松丸亀町商店街振興組合/土居志保/中地伸哉/西岡慎龍/西森和美/福留尚子/フジモト/藤岡徹/松浦産業株式会社/真鍋典子/丸亀トヨー住器(株)/丸亀市社会福祉協議会/満名宏亮/宮下剛/メナードフェイシャルサロン丸亀飯山店/矢野里奈

クラウドファンディング

愛菜ファームSin/秋山美智子/東恵里奈/新朱華/有澤陽子/池上美奈/池田奈央/石井聡子/市原吉博/伊藤佑紀/伊藤明子/猪池豊/上村千賀子/植田幸/上野創/上原美香/宇佐美万里子/NPO法人スポーツ巡回ネットワーク/大浦圭三/大芝可愛/太田広美/大光光代/岡美紀/岡田志保美/高尾勝/加藤豪/株式会社Kyklos/株式会社インベックス/株式会社Faro/株式会社寿康商会/株式会社Hero Maker/株式会社フレイン/岸上幸美/際田千奈美/久保田奈緒/久保田一男/栗原久美/合田仁美/合同会社手心/小山貴世/近藤あゆみ/阪本直子/阪口小夜子/榊間陽子/佐々木文江/佐藤伸子/シーサイドフットサル徳島/ジェリーズポップコーンSP/柴田真理子/新池なつき/末原俊幸/須崎スミ子/鈴木亜由子/田井邦宏/田井康代/高畑真智子/高橋智子/高橋亜美/武川咲子/多田里美/立石美樹/田中陽子/田中仁美/田中貴子/遠山克彦/遠山佐奈江/遠山哲子/豊嶋いずみ/中橋恵美子/永田さな江/西原美恵/西森美佳/根石佐恵子/則久郁代/濱野美野理/林史子/ヒーローコウジ/日岡賢子/福江悦子/福留尚子/藤本千恵/藤井一郎/藤井理恵子/古川忍/星賀愛子/volga volga/前山由美子/松浦英樹/松下典子/松本香織/丸畑望/まるぶん合同会社/水谷哲朗/水澤聖子/南茂樹/三野武子/宮本社会保険労務士事務所/宮脇隆/三好祐也/邑地秀一郎/メナードフェイシャルサロン丸亀飯山店/森昌子/森合音/森さくら/森高玲子/森田桂治/森久美子/山花幸代/山口大輔/有限会社プロミネンス/有限会社アイユー/吉田ゆかり/吉田操志/好井加奈子/吉川和代/吉岡直美/吉川達也/REコンサルティング株式会社/渡邊誉也/和唐裕美

ボランティア

猪池豊/今岡浩美/植田幸/大塚/大手前丸亀高校/大手前高松高校/香川大学医学部/加藤豪/木村真弥子/来嶋しおり/合田仁美/小山俊之/小山善之/阪本直子/四国医療専門学校/四国学院大学災害ボランティアサークル/末原俊幸/田井邦弘/高橋百合子/珍田ヒロシ/中原治代/長岡由佳/福岡順子/前川由紀子/山本裕子/吉田操志

寄付にご協力ください！

NPO法人未来ISSEYは、みなさまからお寄せいただくご寄付で運営しております。

ご支援、ご協力をお願いいたします。

(QRコードからお申込みいただけますと、翌年分は自動で引き落としとなります。)

賛助会員(一般の方)

毎年 ¥3,000 / ¥5,000



賛助会員(企業・団体)

毎年 ¥20,000



マンスリー会員

毎月 ¥500 / ¥1,000



下記の口座からも受け付けております。

楽天銀行 第三営業支店(店番253) / (普通) 7068224
NPO法人未来ISSEY(エヌピーオーハウジンミライッセイ)